

- ⑫ Die Sprache des Hiung-nu Stammes u. der Tung-hu Stämme, S. 9.
- ⑬ 烏孫に就いての考、史學雜誌第十一編一三〇三。
- ⑭ a 蒙古民族の起原、史學雜誌第十八編三六八。  
b 西域史上の新研究、東洋學報第三卷一八五。
- ⑮ Analytic Dictionary of Chinese. p. 31. etc.
- ⑯ Sur l'origine des Hiung-nou. Journal Asiatique. Tome ccl. No. 1.
- ⑰ 東洋學報第十一卷第三號可汗及可敦稱號考。
- ⑱ 養新錄卷五。
- ⑲ 此のことは狩野博士の示教によりて知り得た所である、子居を普通に楊朱の字と爲すことはいふまでもない。
- ⑳ 聿の如きも元來 *lit* であつたであらうが、それが *lit* となり、更に *lit* は *lit* にいふ現象をとつてイツギとなつたものと思ふ。

(史林第九卷第一號、大正十三年一月)

天と祆と祁連と言語、宋書